

---

# Winter Song ～二度と忘れない～

でいじー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Winter Song ～二度と忘れない～

### 【Nコード】

N2126Y

### 【作者名】

でいじー

### 【あらすじ】

高校最後の冬で龍次が体験した恋物語。

こんな想い

おそらくもう二度と味わうことはないだろう。

人生最大の恋の戦いが

始まるようになってくる。

始まりのはじまり

人の一生は短い

そして儚く脆い

そんな短い人生で

僕が出会った恋物語

高校3年生の冬

二度と忘れない

一生に一度の

恋のうた

「なあ龍次、なんかバイト決まってるん？」

いつものようにカネが話しかけてきた。

もちろんカネとはお金のことではない。

カネは金井から取ったあだ名である。

カネは住んでいる地域は違うが僕の数少ない親友の一人で、みんなの信頼も厚く人気者の奴だ。

ちなみに僕は家から20キロくらい離れたところから電車で通学している。

カネからいえばこの高校はいわば地元なのである。

「バイトか。そろそろ見つけとかないとダメだよなあ。」

僕はバスケット部に三年間所属し、総体も終わり大学も普通の私立大学に進学が決まった。そんな僕はダラダラと残りの高校生活を過ごしていた。

進学が決まった高校生の最後の冬なんてバイトでもしてなければ暇すぎて大変なのだ。（少なくとも自分は）

そんな時、ふと頭に浮かんだのは同じクラスで地元友達の女の子、佐藤ゆきの名前だった。

ゆきという名前だがそんなかわいらしい子ではない。顔は普通だがちょっと男勝りな性格で、少し不良気取りの女の子だった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2126y/>

---

Winter Song ～二度と忘れない～

2011年11月4日16時19分発行